Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2022/02/01

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	33.24	-0.20
JPY/THB	0.2886	-0.0015
USD/JPY	115.11	-0.15
EUR/THB	37.34	0.06
EUR/USD	1.1235	0.0084
USD/CNH	6.371	0.003
SGD/THB	24.61	-0.05
AUD/THB	23.49	0.10
USD/INR	74.62	-0.42
USD Index	96.54	-0.73

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,795.0	10.1
WTI (Oil)	88.15	1.33
Copper	9,506.0	-1.5

Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,648.81	9.30
NIKKEI (JP)	27,001.98	284.64
DOW (US)	35,131.86	406.39
S&P500 (US)	4,515.55	83.70
SHCOMP (CN	3,361.44	0.00
DAX(GER)	15,471.20	152.25

Bond

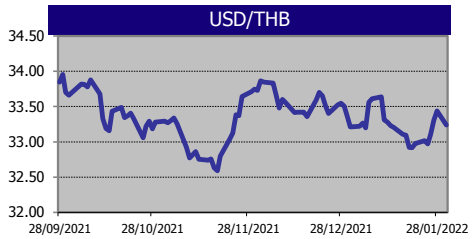
	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.422	-0.028
10Y (THB)	2.134	-0.021
5Y (USD)	1.609	-0.003
10Y (USD)	1.777	0.007

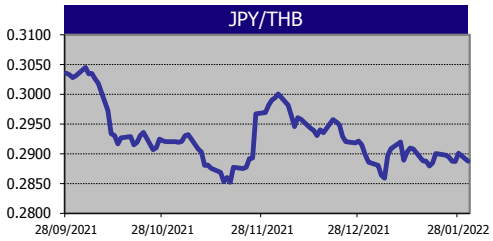
Fund Flow (Overseas Investors)

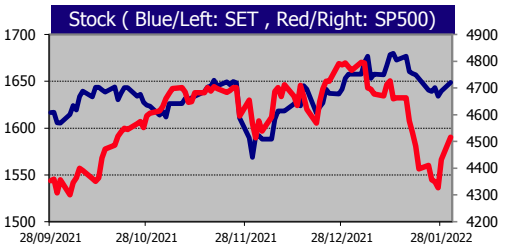
	Close	CHANGE
Stock net flow	663	1667.8
Bond net flow	(6,169)	-2818.9

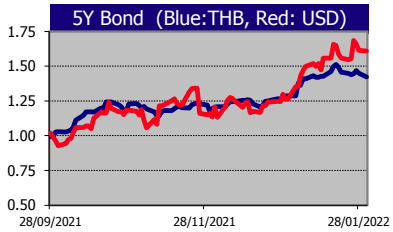
*compared with previous day

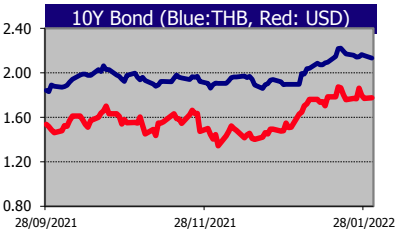
(Source: Bloomberg)

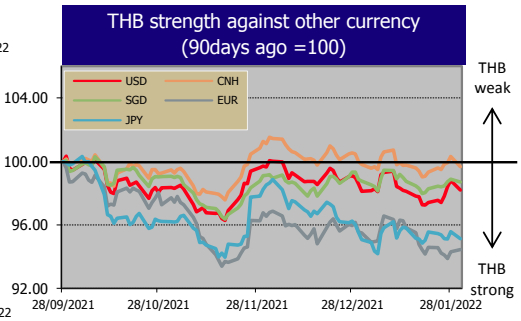


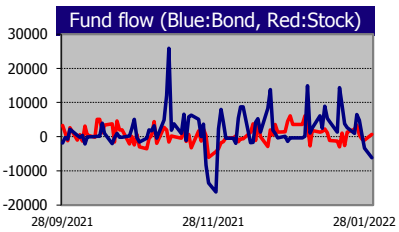


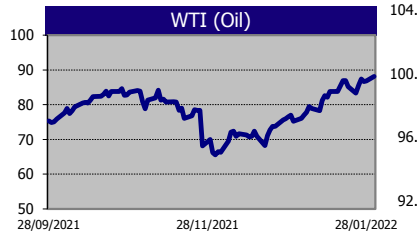












Yesterday's market summary

●ドルバーツ

・昨日のドルバーツは下落。バンコク時間は33.45近辺でオープン。この日発表されたタイ中銀の12月経済指標では、輸出改善や外国人旅行の急増により、タイ経済の回復基調が確認され、2月1日から再開される外国人の隔離なし受入への期待感も高まる中でドルバーツは下落。海外時間には月末リバランスフローでドルが大きく売られるなかでドルバーツは一段と下落を辿り、33.25近辺まで値を下げてクローズした。

●ドル円その他

・昨日のドル円は下落。東京時間は115.25円近辺でオープン。FED高官から必要であれば50bpの利上げの可能性もあり得るとの発言を受けて、朝方は115.60円近辺まで上昇するが、この日は月末のリバランスフロー主導の展開でドルは売りが優勢となる。NY時間に入り、米株市場はショートカバー主導で大きく上昇を示すが、ドル円はドル売り地合いが継続し、一時は115円を割込む展開。引けにかけてはやや値を戻し、結局115.15円近辺でクローズした。

Bangkok Dealer's Eye

2022年も昨日で早くも1ヶ月が経過しましたが、振り返ってみると、株式市場の調整が強く意識された1ヶ月でありました。2022年の注目材料は米国の利上げ動向が最大のテーマとなりますが、2021年までは持ちこたえてきたリスク資産についても、QTの議論が浮上してきたことで、さすがに調整は免れない状況となっています。コロナ対策のための金融緩和および財政出動は、金余りとマネーゲームに拍車をかけており、これまで暗号資産や各種リスク資産については資金流入が進んできましたが、供給マナーが引き上げられる局面が近づいてきたことで、こうしたリスクアセットについては、資金流出のスピードが加速している印象です。昨日は月末のリバランス及びショートカバーで反転上昇を見せましたが、個人的にはまさにデットキャットバウンスの跳ね返りのように思われ、この反発局面で大きく戻せなかった場合は、今後しばらくの間、調整相場に身構える時間帯へ突入しそうです。米国では先週FOMCを追え、声明文では市場予想通りの内容が示され、米国ではいよいよ3月の利上げが確定的となりました。一部の市場参加者からは年内7-8回程度の利上げの可能性を予想する声も出てきており、少なくとも春先までは淡々と利上げステージの階段を上ることになりそうです。今年は11月に米国の中間選挙を迎えることから、夏ごろから冬にかけては世論の支持を集めるべく、緩和政策が強まることが予想され、春までにいかに金融政策の糊しろをつけられるかが注目となります。個人的にはドルバーツも一時反発する場面も考えられますが、淡々と売りのオペレーションを進めておきたい局面と考えます。(橋)

The report is prepared for the sole purpose of information only.It is not an invitaion to trade.The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.